

## 令和4年度「伝えよう！本の魅力コンテスト」ツイッター部門 受賞者・受賞作一覧

### ◆最優秀賞

栃木県立宇都宮北高等学校 1年 安間 優樹 さん

『まじめな悪魔の辞典』（Syuugoro／著 HK INTERNATIONAL VISION）

「平和とは、戦争と戦争との間の休息のことである。」あなたはと思う？ふだん当たり前のよ  
うに使っている、または決まった使い方をしている多くの言葉達を、まじめな悪魔がこの辞典に  
まとめた。もちろん、悪魔風に。半分皮肉、半分本気で。普通の悪魔なんて、本なんか書かずに人  
間を喰ってるのにね。(140)

### ◆優秀賞

栃木県立宇都宮東高等学校 2年 福地 舞歩 さん

『笑う数学』（日本お笑い数学協会／著 KADOKAWA）

数学なんて将来使わないのに！と思いながら勉強している学生も数多くいることであろう、数  
学。しかしこの数学の本は少し変わっている。愛の告白を数式でやってみたり、板チョコの定理  
だったり。まあなんともカオスである。1ページめくるごとに猫の目のように激変する小話が詰  
まった一冊。(134)

栃木県立宇都宮北高等学校 1年 小森 流佳 さん

『失はれる物語』（乙一／著 角川書店）

「この情けない肉の塊を殺してほしかった」

事故により右腕以外の感覚が失われた私。それでも、彼女は毎日私の腕でピアノを弾き続けた。

彼女を自分から解放するために、私のゆるやかな自殺は始まった。

「おとうさん」

そう最後に書かれた言葉は。(113)

栃木県立宇都宮北高等学校 1年 松岡 匂香 さん

『冬の朝、そっと担任を突き落とす』（白河三兔／著 新潮社）

担任が翼を生やして死んだ理由を生徒達は知っている。(25)

栃木県立宇都宮北高等学校 1年 向井 優駿 さん

『人魚の眠る家』(東野圭吾/著 幻冬舎)

「脳死」

それは、身体は生きているけど脳が死んでいる状態のこと。

「自分の娘は生きているのか」

両親はそんな葛藤と生きる。

あなたは思うでしょう

「死んでいますか？」

「生きていますか？」(90)

栃木県立石橋高等学校 1年 上野 日菜子 さん

『天翔る』(村山由佳/著 講談社)

天は意地悪、神は残酷。人の心は、もろくて弱い。

だけど、走って、走って、走った先に、ほんのちょっとした希望が見えた。(56)